

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	政治・経済	
科目基礎情報							
科目番号	0045		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科		対象学年		3		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	「政治・経済」(第一学習社)、プリント等						
担当教員	大野 規之						
到達目標							
政治・経済に関する基本的な知識を学ぶと共に、社会の出来事に興味・関心を持ち理解できる力をつける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目 1	政治・経済に関する基本的な知識について説明できる		政治・経済に関する基本的な知識についておおむね説明できる		政治・経済に関する基本的な知識について説明できない		
評価項目 2	社会の出来事に興味・関心を持ち理解できる		社会の出来事に興味・関心を持ちおおむね理解できる		社会の出来事に興味・関心を持ち理解できない		
学科の到達目標項目との関係							
A							
教育方法等							
概要	現実の社会の動きにもふれつつ、政治・経済に関する基本的な概念を理解する。						
授業の進め方・方法	「政治・経済」(第一学習社)、プリント等						
注意点	新聞やテレビのニュース資料などを見直し、さらに報道に接し、知識を広める						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	民主政治の原理と憲法 政治と社会、国家の役割		授業内容を理解できる		
		2週	国家の役割 国家と法、人権の保障と法の支配		授業内容を理解できる		
		3週	国民主権と議会制民主主義		授業内容を理解できる		
		4週	民主主義の発展 議院内閣制と大統領制		授業内容を理解できる		
		5週	大日本帝国憲法と日本国憲法の成立過程		授業内容を理解できる		
		6週	日本国憲法の基本原理 国民主権と象徴天皇制		授業内容を理解できる		
		7週	平和主義と自衛隊		授業内容を理解できる		
		8週	日本の防衛政策の歩み		授業内容を理解できる		
	2ndQ	9週	基本的人権の保障		授業内容を理解できる		
		10週	法の下での平等と自由権		授業内容を理解できる		
		11週	社会権と新しい人権		授業内容を理解できる		
		12週	国会の組織と立法、国会審議の問題点		授業内容を理解できる		
		13週	内閣の機構と行政		授業内容を理解できる		
		14週	司法権の独立と裁判制度		授業内容を理解できる		
		15週	テスト返却と解説		授業内容を理解できる		
		16週					
後期	3rdQ	1週	裁判所の機能と司法制度、死刑制度について考える		授業内容を理解できる		
		2週	地方自治制度と住民の権利		授業内容を理解できる		
		3週	政党政治と選挙制度		授業内容を理解できる		
		4週	情報化社会と世論の役割 マスメディアの影響力と危険性について		授業内容を理解できる		
		5週	現代の国際政治と日本 国際社会と国際法		授業内容を理解できる		
		6週	国際連盟の反省に基づいて国際連合の役割と機能について		授業内容を理解できる		
		7週	冷戦時代と今日の国際社会		授業内容を理解できる		
		8週	人種・民族問題 パレスチナ問題を中心に紛争について解説		授業内容を理解できる		
	4thQ	9週	軍縮の歴史と日本の領土問題		授業内容を理解できる		
		10週	日本の諸課題 ①女性の社会進出を阻む壁 家制度の崩壊と性別役割分業意識		授業内容を理解できる		
		11週	②少子高齢化社会と社会保障 その原因と対策		授業内容を理解できる		
		12週	③雇用と労働をめぐる問題 意識の変化とブラック企業		授業内容を理解できる		
		13週	④産業構造の変化と中小企業		授業内容を理解できる		
		14週	⑤教育改革と現状について 不登校・ニートに触れながらゆとり教育について		授業内容を理解できる		
		15週	テスト返却と解説		授業内容を理解できる		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	前1
	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3	前7,前11,前13,後5,後6,後7,後8,後9
				技術者を目指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでいくことの重要性を認識している。	3	前7,後4,後5,後8,後9
	分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3
企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。					3	後5,後8,後11
評価割合						
	試験	課題				合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	100
配点	80	20	0	0	0	100